



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー

合同会社 Konoha



合同会社 Konoha
代表社員
原口 美沙貴さん



うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。

昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■トップインタビュー■

Q. 御社の歴史と事業内容を教えてください

弊社は、令和元年の7月に創業した会社です。事業内容は、「放課後等デイサービス（障がいを持つ児童を対象とする学童保育）」です。具体的には、「生きる力を身に付ける」を理念に、学校終了後・土祝日・長期休暇にお子様（6歳～18歳まで）をお預かりし、レクリエーションや地域交流などを通じた集団行動の教育や身辺訓練などを中心とする一人ひとりにあった療育支援を行っています。

また、うきは市では他に例をみない食育を目的とした食事提供を行っています。

Q. 御社が誇れることやこだわりを教えてください

お様が将来一人でも生きていく力を身に付けてもらうため、食育を通じて自身の苦手なものに挑戦し克服ができるように日々支援を行っています。

また、お様が食事をより楽しめるように、お子様自身が畑で採った食材を使った料理の提供やお菓子作りに参加することで食への興味を高めようと取り組んでいます。

Q. 会社として挑戦したい・伸ばしていきたいところはどこですか

うきは市は、他の市町村と比べると福祉事業所の数が少ないので、

将来的には事業所を増やしていきたいです。職員を増やし、市や保護者様に必要とされた時に直ぐにどんなことでも応えられるくらいの力を身に付けていきたいです。

Q. 食育とデイサービスを結び付けて大変だったことはありますか

食事に関しては、苦手な食材をきれいに食べてくれる日もあれば全く食べてくれない日もありました。創業当時は、お子様に食べてもらうため日々試行錯誤しましたが、工夫や声掛け等、同じことを繰り返すことによって、今ではほとんどのお子様が食べてくれるようになりました。

Q. 学生に伝えたいことはありますか

様々なことを精一杯行うことが何よりも大事なことだと思います。学校やアルバイトなどで自身の興味がある分野が見つかるかもしれないため、今できることを全力でやる。これこそが大学時代で何よりも大事であると伝えたいですね。

Q. うきは市の方に伝えたいことはありますか

うきは市の方には、「放課後等デイサービス」という事業の存在自体を知って欲しいです。まだ、なかなかこの事業のことが世間的にも地域的にも浸透していないので、この取材をきっかけに、うきは市の方に弊社の事業のことを知っていただければと思います。

★取材を終えて★

職員の方々と話をさせていただいて、子ども達一人ひとりの個性を生かしながら成長を支援する姿勢や一人ひとりと向き合うことの大切さを学べて、とても有意義な時間でした。（田村）

子ども達が出来るようになるまで何度も根気強く指導することはとても大変なことだと感じましたが、子ども達の話をする職員の方々の姿を見て毎日我が子に接するように支え続けているのだと感じました。（山本）

子ども達が本当に出来ないのかどうなのかを見抜く力や親とは違う視点だからこそ見える良い部分や悪い部分を探して子ども達の成長を支援することなど、職員の方々の存在は子ども達の成長にとってとても大きいと感じました。（藤田）



久留米大学3年
田村 郁彦



久留米大学3年
山本 優吾



久留米大学3年
藤田 奏汰

会社名 合同会社 Konoha
児童デイサービス「ハッピー・スペース」
所在地 うきは市吉井町清瀬 569-3
電話 0943-75-3355
FAX 0943-75-3455
HP

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索